

佐佐木高行 たかゆき 政治家。文政十二年十月十一日土佐國吾川郡長濱村生れ、明治四十二年二月二日没（七三〇—一九〇）。辯は初の高畚、高春、通稱萬之助、信頼、三田郎。江戸で大橋訥菴、安井息軒等と學ぶ。藩政に参劃し藩の倒幕運動の中心となる。維新後参議、司法大輔に任じ、明治四年岩倉具視の遣外使節團に隨行。その後参議兼工部卿、宮中顧問官、樞密顧問官に任ぜられた。この間 侍の女や 明宮（大正天皇）の教育主任、皇女の養育主任を務め、天皇の信任を得た。四十二年侯爵。

著書に『無聲鶴鳴』（合著・岩崎英重編、明治二十一年五月）『千八百興雲閣』、『佐佐木伯齋時評談』（再版改題・明治二十七年九月）『白蘭學院』、『佐佐木伯齋時評談・續篇』（高山昇編、明治二十八年四月）『千八百蘭學院』等。

